

9月 18-24 日

エステル 6-8 章

115 番の歌と祈り 阿部 直生

開会の言葉（1分） 水品 安章

神の言葉の宝

「良いコミュニケーションの手本」（10分） 長谷川 貴史

宝石を探し出す（10分） 田中 慶一

エス 7:4 私も私の民族も売られており、殺され、滅ぼされ、全滅させられようとしているのです。もし奴隷として売られただけでしたら、私は黙っておりました。けれども、この苦難は王にとって損失となりますので、好ましいことではございません

ユダヤ人を全滅させることが「王にとって損失」になる、とはどういうことか。（塔 06 3/P1 11S1 目立った点）ユダヤ人を根絶やしにすることがどのように「王の損害」となるのでしょうか。エステルはユダヤ人を奴隷として売る可能性を巧みに持ち出して、ユダヤ人を滅ぼすことがどのように王の損害となるかに注意を向けました。ハマンは王の金庫に銀 1 万枚を支払うことを約束しましたが、その額はユダヤ人を奴隷として売った場合の利益に到底及びません。さらに、ユダヤ人を根絶やしにするというたくらみが実行されるなら、王は王妃を失うことにもなりました

今週の範囲からエホバについて何を学べたか。宣教でどんな点を活用できるか。ほかにどんな宝石を見つけたか。

（6:13）ハマンがモルデカイに榮譽を示さなければならなかったことが、ハマンの妻や友人たちにはハマンがモルデカイに必ず負ける前兆と見えて、慰めるどころか、それを明言している。サタン同様エホバに敵対する人々が心の奥底では、真理や真の神に対する恐れを持っている可能性も考えられる。それで私たちは、そうした人たちにも、真の喜びをもたらす王国の良い知らせを巧みに伝えていきたい

聖書朗読（4分） エス 8:9-17（教励 第 5 課） 長谷川 瑛一

野外奉仕に励む

最初の話し合い（3分） 話し合いのサンプルの話題に沿って話す。よくある反対意見に対応する。（教励 第 3 課） 宮城 ひかる 3 金刺 亜以子

再訪問（4分） 話し合いのサンプルの話題に沿って話す。集会に招待する。「王国会館においてください」の動画を紹介し、話し合う。（再生しない）（教 12 課） 大谷 恵美子 12 伊藤 本子

話 (5 分) [塔研 22.01 10-11 ページ 8-10 節](#) 主題: ヤコブのように上手に教える シンプルに説明する。
([教励 第 17 課](#)) 五味 統

クリスチャンとして生活する

[148 番の歌](#) 地区大会の復習 (15 分) 浮田 蒼

~~「[エホバに頼って、いじめに対処する](#)」 (15 分) 討議。 [動画](#) を視聴する。 [吉田 忍](#)~~

会衆の聖書研究 (30 分) [暮 レッスン 58](#) 大谷 正 朗読: 米山 英行

閉会の言葉 (3 分) 水品 安章

[124 番の歌](#) と祈り 浮田 蒼

^ ([エス 6:1-8:17](#)) その夜、王は眠れなかった。それで、その時代の歴史を記した書物を持ってくるように言った。その書物が王の前で朗読された。2 すると、次の記述が見つかった。王の 2 人の廷臣で戸口番のビグタナとテレシュがアハシュエロス王の殺害をたくらんだことについて、モルデカイが報告した、という記述である。3 王が、「この件で、モルデカイにどんな栄誉と褒美が与えられたか」と尋ねると、王のそばで仕える人たちは、「何も与えられておりません」と答えた。4 その後、王は言った。「庭にいるのは誰か」。ハマンが王の家*の外側の庭に入ってきていた。用意した杭にモルデカイを掛けることについて王に話すためだった。5 王に仕える人たちは言った。「ハマンが庭に立っております」。それで王は、「通せ」と言った。6 ハマンが入ってくると、王は言った。「王が栄誉を与えたいと思う人には、何をすればよいか」。ハマンは心の中で言った。「王は私以外の誰に栄誉を与えたいと思うだろうか」。7 そして王に言った。「王が栄誉を与えたいと思われる人のために、8 王がお召しになる王の服を持ってこさせ、王がお乗りになる馬に特別な頭飾りを付けて、引いてこさせてください。9 その衣服と馬を、王に仕える著名な高官の 1 人に託すのです。王が栄誉を与えたいと思われる人は、それを着て都の広場でその馬に乗ります。その前で、『王が栄誉を与えたいと思う人はこのようにされる』という宣言がなされますように」。10 直ちに王はハマンに言った。「急げ！ その衣服と馬を取って、あなたが述べたことを全て行いなさい」。11 それでハマンは衣服と馬を取り、モルデカイに着せ、都の広場で馬に乗せ、その前で、「王が栄誉を与えたいと思う人はこのようにされる」と宣言した。12 その後、モルデカイは王の門に戻った。ハマンは、嘆いて頭を覆い、家へと急いだ。13 ハマンが妻ゼレシュと友人たち全員に、自分に生じたことを何もかも語ると、賢人たちと妻ゼレシュは言った。「あなたはすでにモルデカイに負けそうになっていますが、モルデカイがユダヤ人でしたら、あなたはいけません。必ず負けるでしょう」。14 話し合いが続いているうちに、王の廷臣たちが到着し、エステルの設けた宴会に、急いでハマンを連れていった。

良いコミュニケーションの手本

エステルは話すのにちょうど良い時を待った。（[エス 7:2](#)。[倣 140 ページ 15-16 節](#)）

エステルはよく考え、敬意を込めて話した。（[エス 7:3](#)。[倣 140 ページ 17 節](#)）

エステルは問題を率直にありのままに話した。（[エス 7:4](#)。[倣 141 ページ 18-19 節](#)）



考えてみよう 「家族と話す時、どのようにエステルに倣えるだろうか」。

*** 倣 第 16 章 140–141 ページ 15–19 節 賢く勇敢に無私の気持ちで行動した女性 ***

15 エステルが辛抱強くあり、自分の願いを王に述べる時をもう 1 日延ばしたので、ハマンは自らの没落のきっかけを作ることになりました。エホバ神が王の眠りを妨げられたのかもしれませんが。（箴 21:1）聖書が「神を待ち望（む）」よう勧めているのは、もっともなことです。（ミカ 7:7 を読む。）わたしたちも神を待つなら、問題を解決する点で自分の方法より神の方法のほうがはるかに優れている、ということに気づくでしょう。

勇敢に話す

16 エステルは、もう王の辛抱を試そうとはしません。二度目の宴会が始まります。すべてを話さなければなりません。しかし、どのように話したらよいのでしょうか。すると王から、あなたの請願は何かと再び尋ねられ、話す機会を与えられます。（エス 7:2）ついに、「話す……時」が来たのです。

17 エステルは、おそらく神に無言の祈りをささげてから、こう言います。「王よ、もし私があなたの目に恵みを得ているのであれば、またもし王にとって確かに良いと思われるのであれば、私の請願にしたがって私に私の魂が与えられ、私の願いにしたがって私の民族が与えられますように」。（エス 7:3）エステルは、何が良いと思えるかに関して王の判断を重んじたいと述べています。故意に王を辱めた前妻ワンテとは全く異なっています。（エス 1:10-12）また、ハマンを信頼した王の愚かさを批判するのではなく、自分の命を危険から守ってほしいと嘆願しています。

18 王はこの願いを聞いて、心を動かされたと同時に驚いたに違いありません。一体だれが王妃の命を危うくしているのでしょうか。エステルはこう続けます。「私たちは売られておりまして、私も私の民族も、根絶やしにされ、殺され、滅ぼされようとしております。ところで、もし私たちが単に男の奴隷やはしためとして売られただけでしたら、私は黙っていたことでしょう。けれども、王の損害となる場合には、その苦難はふさわしくございません」。（エス 7:4）エステルは問題をありのままに話しています。そして、自分たちが奴隷にされるだけなら自分は黙っていたが、虐殺されるのであれば王が多額の損害を被ることになるので、黙っているわけにはゆかない、と述べています。

19 エステルの模範から、説得の技術について多くを学べます。家族やしかるべき権限のある人に重大な問題を話す必要がある時には、辛抱強さと敬意と率直さが肝要です。—箴 16:21, 23。